



# ディンプル取替シリンダー LS5/LS4/LS3

## 取付説明書 及び 錠前取扱上の注意事項

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。製品を永く安全にご使用頂くために、この取扱上の注意事項を必ずお読み頂き、正しくお取扱い下さい。また、本書はいつでも見られる所に保管して頂きますようお願いいたします。

本書は必ず御施主様または御入居様で保管して下さい。



### ● 作業中・使用者の傷害防止のために

- ①扉は取替作業終了まで半開きの状態で固定して下さい。作業中に扉が閉まると入室できなくなる恐れがあります。
- ②取替作業中は作業員以外が周辺に近づいたり、立ち止まらないように注意して下さい。
- ③錠前の受け金具（ストライク）の穴に指を入れしないで下さい。指を切る恐れがあります。
- ④錠前のハンドルやデッドボルト、ラッチボルトにぶつからないように気を付けて下さい。当たって怪我をする恐れがあります。
- ⑤ハンドルやノブ、シリンダーなどにぶら下がったり、足場にしたり、物を引っ掛けたりしないで下さい。危険なばかりか錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ⑥指定以外のネジを外したり、錠前及びシリンダーの分解はしないで下さい。中の部品が飛び出して怪我をしたり正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。

### ● 錠前の損傷防止のために

- ①鍵穴に油や異物を入れしないで下さい。異物が詰まると鍵の操作ができなくなります。鍵の抜き差しや回転操作が悪くなったら、鉛筆（軟らかい芯）の粉や黒鉛粉を鍵穴に入れて下さい。油は注入直後は良くてもホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので絶対使用しないで下さい。
- ②シリンダーは時々、やわらかい布で空拭きする程度を掃除して下さい。シリンダーの表面に汚れ、ホコリなどを付着したまま放置しますと変色、腐食の原因になります。洗浄の際、酸やアルカリ、塩素などの化学薬品等で洗浄しないで下さい。また直接水をかけしないで下さい。
- ③複製キーをご使用した際はキーのバリ、精度によってはシリンダーの作動へ影響をおよぼすことがありますので注意して下さい。

### ● 盗難、悪用防止のために

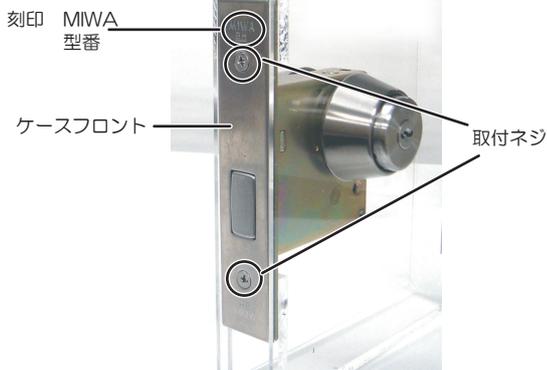
- ①施錠忘れによる盗難が多くありますので、施錠の際は必ず確認して下さい。
- ②鍵に使用場所が分かる表示を付けないようにして下さい。紛失時に悪用される恐れがあります。
- ③スペアキーは大切に保管、管理しておいて下さい。

### ● その他

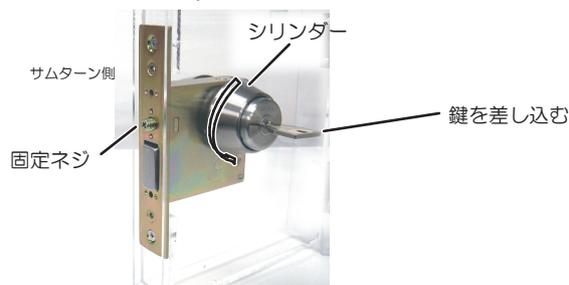
- ①取替えが困難になった場合は、取替え作業を中止し、元の状態に戻して、ご購入店までご相談下さい。
- ②鍵が回らない故障が発生した時には速やかに管理事務所、施工業者にご相談して下さい。
- ③スペアキーをご注文される際は、ご購入店まで申し付けをお願いします。

## 取付方法 MIWA (美和ロック) BH・DZ・LDタイプ

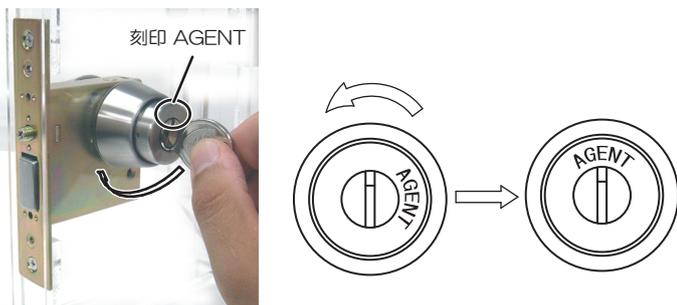
- 適合機種を確認します。ケースフロントにMIWA(美和ロック)と型番BH、DZ、LDのいずれかの刻印があることを確認してください。(下の写真は、BHです。LDはレバーハンドル錠になります。)
- ケースフロントの取付ネジをはずし、ケースフロントをはずします。



- ケースフロントを外しますとデッドボルト付近に固定ネジがあります。固定ネジを左回しに止まるまでゆるめます。(固定ネジは抜け落ちることはありません。)
- シリンダーに鍵を差し込み、鍵を支えながら鍵は回らないように固定してシリンダー本体を左回しに回し取りはずします。  
(注意1) シリンダーが落下しないように注意してください。  
(注意2) 固定ネジをゆるめると内側サムターンも固定が解除されますので内側サムターンは回らないように注意してください。



- 取替シリンダーの刻印「AGENT」を上にし、鍵を差し込んだ状態(鍵は縦方向)で扉の奥に押し当てます。鍵を支えながら鍵は回らないように固定してシリンダー本体を右回しに数回まわし止まるまでねじ込みます。刻印「AGENT」が上部中央の位置に無い場合は本体を左回しに戻し上部中央にくるように調整してください。鍵が縦方向になっていることを確認し、鍵の抜き差しを確認します。



- フロント裏板面より固定ネジを右回りに固くなるまで回しシリンダーを固定します。  
(注意1) 固定ネジは完全に締め込んでください。出っ張るとフロントが正しく取付られません。締め込み出来ない場合は、内側サムターン、外側のシリンダーの位置を確認ください。
- 取付ネジでフロントを装着してください。

